

【日本農薬学会「技術士試験対策セミナー～技術士活動の具体的なイメージをつかもう～】

日時：3月8日（水） 12:30～13:30

募集人数：50名（先着順、当日朝からチケットを配布します。）

場所：愛媛大学城北キャンパス 第42回農薬学会大会ランチョンセミナー会場

講演：「技術士の活動の場～GAPの取組支援～」

演者：一般社団法人GAP普及推進機構 今瀧博文

内容：日本農薬学会では、技術士（農業部門・植物保護）の取得支援として、技術士資格を取得した後に実践されている活動をご紹介します。技術士に対する具体的なイメージづくりにつないでいただきたく、セミナーを開催いたします。これから取得を目指す方もすでに取得された方も、また、技術士にご興味のある方など多くの方のご参加をお待ちしております。

なお、5学会会員の方は会員番号記載の封筒等を学会受付にご提示いただけますと、ご参加いただけます。

GAP：

GAP（Good Agricultural Practice）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のことです。これを我が国の多くの農業者や産地が取り入れることにより、結果として食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保が期待されます（農林水産省ホームページより）。演者はGAPの世界標準となりつつあるGLOBALG.A.P.を日本で普及推進する目的で設立されたGAP普及推進機構の運営に携わる中で、GAPの取組支援、国際認証に関する理解促進や我が国の農業への導入に携わり、技術士として広く活動しています。